

# 令和4年度～令和6年度出品点数内訳表

最終

部門	年度	総出品点数	審査対象		審査対象外		市長賞	市議会 議長賞	教育委 員会賞	岡田文 化財 団賞	文化 協会賞	CTY賞	奨励賞	入賞数 合計	入選	選外
			一般 応募	一年 無鑑査	審査員 運営委員 顧問 元審査員	無鑑査										
日本画	4	25	13	0	4	8	1	1	1	1	1	0	1	6	7	0
	5	28	12	0	8	8	1	1	1	1	1	1	1	7	5	0
	6	22	14	0	3	5	1	1	1	1	1	0	2	7	7	0
洋画	4	79	65	1	6	7	1	1	1	1	1	2	7	14	48	4
	5	84	62	1	8	13	1	1	1	1	1	3	6	14	49	0
	6	69	57	1	6	5	1	1	1	1	1	3	6	14	44	0
彫刻	4	18	5	0	8	5	1	1	1	1	1	0	0	5	0	0
	5	19	6	0	9	4	1	1	1	1	1	0	1	6	0	0
	6	16	7	1	8	0	1	1	1	1	1	0	1	6	2	0
工芸	4	55	45	1	6	3	1	1	1	1	1	2	5	12	33	1
	5	48	36	0	8	4	1	1	1	1	1	1	4	10	26	0
	6	45	37	0	5	3	1	1	1	1	1	2	4	11	26	0
書道	4	118	98	0	12	8	1	1	1	1	1	4	10	19	79	0
	5	116	93	1	14	8	1	1	1	1	1	4	10	19	75	0
	6	107	87	0	14	6	1	1	1	1	1	4	9	18	69	0
写真	4	85	75	1	8	1	1	1	1	1	1	3	7	15	60	1
	5	97	84	0	11	2	1	1	1	1	1	3	8	16	68	0
	6	83	71	1	9	2	1	1	1	1	1	3	8	16	55	1
総計	4	380	301	3	44	32	6	6	6	6	6	11	30	71	227	6
	5	392	293	2	58	39	6	6	6	6	6	12	30	72	223	0
	6	342	273	3	45	21	6	6	6	6	6	12	30	72	203	1

## 写真部門高校生表彰枠

4	9
5	10
6	13

4年度は金賞、銀賞、銅賞各1点受賞

5年度は金賞、銀賞、銅賞各1点受賞

6年度は金賞、銀賞、銅賞各1点受賞

【日本画部門】

市長賞	新保 久美子	向日葵
市議会議長賞	伊藤 慶三	コンビナートの映える四日市ドーム
教育委員会賞	渡邊 博	キビレカワハギ
岡田文化財団賞	西脇 善清	菊
四日市市文化協会賞	後藤 栄樹	ねじり橋通過
奨励賞	平出 恒志	陽光
奨励賞	野口 勝	ゆっくり渡る

【洋画部門】

市長賞	橋本 美代子	二本杉とお茶畑
市議会議長賞	鈴木 久衛	静寂の山門
教育委員会賞	阿部 逸夫	ブダペスト・漁夫の砦
岡田文化財団賞	草川 紀一	街道の和菓子屋
四日市市文化協会賞	辻 敏昭 ※	光の印象Ⅱ
シー・ティー・ワイ賞	佐野 洋平	山と雲
シー・ティー・ワイ賞	大市 道代	団らん
シー・ティー・ワイ賞	伊藤 正美	夏は来ぬ
奨励賞	小林 佳孝	美しき静寂の街ピティリアーノ
奨励賞	中原 春美	空豆をありがとう
奨励賞	岩下 真里子	さわやかなサンモリッツ湖
奨励賞	片岡 博一	ガザの悲劇
奨励賞	稗田 彩乃	自由
奨励賞	中川 淳子	雨の日
クスノキ賞	田中 美羽	迷いの先へ

※ 正しくは、一点しんによろの「辻」

【彫刻部門】

市長賞	赤繁 容子	踊れ 喜べ
市議会議長賞	丹羽 則夫	鷹
教育委員会賞	山下 小葉	握る
岡田文化財団賞	麗美	かさ
四日市市文化協会賞	成瀬 晴敏	能面 小面
奨励賞	辻本 隆司 ※	時空へのいざない。～悠久の時～
クスノキ賞	寺田 優芽	青い気持ち

※ 正しくは、一点しんによの「辻」

【工芸部門】

市長賞	中野 綾子	静寂の流転
市議会議長賞	加藤 信子	アミーバ・79
教育委員会賞	大井 扶美	夜行
岡田文化財団賞	佐藤 親	緑釉幾何紋組み皿
四日市市文化協会賞	川北 昇	人生海に夕映え
シー・ティー・ワイ賞	石垣 英雄	赤釉壺
シー・ティー・ワイ賞	小林 靖幸	赤絵盛盞瓶
奨励賞	赤塚 秀次	UNKNOWN
奨励賞	塩田 ツヤ子	秋の夜長
奨励賞	渡邊 誠吾	夢
奨励賞	竹内 薫範	Hana-ire
クスノキ賞	西村 さゆり	共創と共生

【写真部門】

市長賞	赤塚 正行	激論
市議会議長賞	米川アンジェリカ 綾	狙う
教育委員会賞	脇坂 大	ぼくのテリトリー
岡田文化財団賞	野副 紳一郎	キラーン！魔法のスティック
四日市市文化協会賞	山川 充子	泥んこバレー
シー・ティー・ワイ賞	伊藤 伸	哀愁の街
シー・ティー・ワイ賞	増木 和典	転倒
シー・ティー・ワイ賞	種橋 マミ	勇猛果敢
奨励賞	比良 敏征	湖畔に映る夕日
奨励賞	大杉 博昭	花吹雪
奨励賞	松下 登	泰然
奨励賞	田中 良陸	大物Get
奨励賞	井上 恒孝	樹齢1000年の杉
奨励賞	辻 義則 ※	鉄オタ猫
奨励賞	木本 敦	さっぱりするよ
奨励賞	前田 潤	故郷の空

※ 正しくは、一点しんによろの「辻」

【高校生写真部門】

金賞	石田 愛菜	探し物
銀賞	坂口 葉琉	時の玉手箱
銅賞	伊東 陽莉	青空に向かって

【書道部門】

市長賞	水谷 かおり	みよしのは
市議会議長賞	柿葉 紫水	客堂の秋夕
教育委員会賞	小松 翠篁	周篁の詩一節
岡田文化財団賞	天野 太輔	劉徳玄詩一節
四日市市文化協会賞	飯田 真帆	秋風
シー・ティー・ワイ賞	小山 美笙	王之渙詩
シー・ティー・ワイ賞	辻 翠松	王鐸詩
シー・ティー・ワイ賞	藤谷 美佐子	明周天球行書陋室銘軸
シー・ティー・ワイ賞	竹浪 美彭	フレデリック・B・ロビンソン 言
奨励賞	内田 洋子	草枕
奨励賞	梅田 寿子	蘇軾臨
奨励賞	加藤 沙季子	関戸本古今集節臨
奨励賞	山田 圭華	臨王覚欺詩二首
奨励賞	水谷 祥一	杜甫詩
奨励賞	松井 弘子	萩原朔太郎「帰郷」
奨励賞	寺本 奈央	月夜
奨励賞	西川 綾音	秋風
奨励賞	駒形 桃季	和賈舎人早～王維詩
クスノキ賞	井上 亜耶	臨吳昌碩尺牘

※ クスノキ賞とは、今後一層の活躍が期待される若者の優れた作品に対して贈る賞として令和4年度に創設したものです。部門によって対象年齢を定め、市長賞等の選考後に別途選定し、市長賞等との重複受賞もあります。

## 第5 1回四日市市美術展覧会 審査講評

### 【日本画部門】

全体的に小さなサイズの作品が多かった印象ですが、丁寧に描き込みがなされた力作が揃いました。

市長賞の「向日葵」は、明るい空の下、咲き誇る花の生命力を存分に表現したみずみずしい作品です。絵の具もしっかりと置くことができている、発色と力強さが共存しています。

市議会議長賞の作品「コンビナートの映える四日市ドーム」は、建物の曲線を大きな画面上に大胆に構図した迫力ある作品です。ガラスに映える風景を、巧みなテクニックを駆使して表現しています。

教育委員会賞の「キビレカワハギ」は、画面の重厚な質感が素晴らしく、力強い色彩の中、ユーモラスな表情のカワハギを伸びやかに描いています。

岡田文化財団賞の「菊」は、対象に正面から真摯に向き合っている姿勢に好感を抱きます。

他の作品も丹念に時間を費やしたことが窺える、見応えに富んだ作品が多い反面、やや迫力に乏しい点が惜しいところです。できるだけ大きなサイズの画面に挑戦し、しっかりと絵の具を置いた作品を期待します。

### 【洋画部門】

今年度の洋画部門では、一般応募の点数が減り、57点にとどまりました。近年、応募作品数が減少傾向にあることは、審査員からも危惧する声があがっています。市民の皆様からの積極的な応募が増えることを期待しています。

市長賞の作品は、ピンク、オレンジの線描など大胆な色づかいで描かれた風景画で、華やかな画面が印象的です。茶畑が画面の奥へと広がっていくさまは、遠近感を描き出すのが難しいですが、意欲的に取り組まれていると思います。

市議会議長賞は、緻密に描かれた大画面の水彩作品で、描写力の高さに票が集まりました。

教育委員会賞の作品は、厚塗りの点描で仕上げられており、ひとつひとつの絵の具の置き方から絵に対する情熱が感じられます。

いずれの作品も、絵に真摯に向き合い、努力されている様子が審査員の目にとまり、評価を得ました。描く技術の向上が求められるのはもちろんですが、絵を描く楽しみをそれぞれが持ち、制作に取り組まれることを願っています。

### 【彫刻部門】

今回の出点数は昨年より2点増加したものの依然として全体の1割にも満たない状況にある。また若手の出品が少ないことは彫刻を始める機会自体が減っていることのあらわれではないかと思われる。少ない作品数のため、賞選考は難航した。

市長賞は陶の組作品で、抽象化された踊る人物には躍動感があり、焼成温度による色の変化の連動が個々のオブジェクトを一体にまとめていたところもポイントとした。

教育委員会賞の”握る”は、若手らしい力強さと繊細さを感じさせるなか、新しい素材へのトライアルもうかがえ、今後の可能性を秘めており楽しみである。

全体的には、素材、着眼点、技法にユニークさも見られ作者の想いが作品から伝わってきたが、作品の見せどころにもう一息気持ちを込めれば更なる迫力や緊張感が出るように思われた。

彫刻部門の活性化は四日市市美術展にとっての課題であるが、ここ四日市はモノづくりのまちであり沢山のヒントであふれていることも事実である。

次回以降への期待をこめて。

### 【工芸部門】

審査のある展覧会では、自身の作品へ込めた想いと他者の感じ方の差異に気付かされますが、そのことにより自身の考えが深まり、自身を知ることにもなります。是非この展覧会をそのような場としてお使いいただき、より多くの方にチャレンジしていただきたいと思います。

市長賞の「静寂の流転」は、一針一針丁寧な仕事が全体的に施され、審査員全員圧倒されました。

市議会議長賞の「アミーバ・79」は素材の持つ特性を上手く活かし、とても綺麗な造形を作り上げている作品です。

教育委員会賞の「夜行」はアイコンックなデザインで、現代的な表現がとても目をひきました。

岡田文化財団賞の「緑釉幾何紋組み皿」は萬古焼の伝統的な技法を幾何紋様と組み合わせる事で、モダンな印象に仕上げた作品でした。

### 【書道部門】

昨年とくらべて若干の減少があったが力作揃いとなった。全体的に質、力量的にレベルが高く、さすが県内最大の市展だと唸る次第である。

市長賞は日本古来よりある細字仮名である。行の頭末を細かく調整しつつ全体のうねりある構成が見事である。また、墨の潤滑も工夫され、よりメリハリのある作品に仕上がっている。

市議会議長賞は、明清時代の行書を想起させる作風である。行間の呼応が巧みであり、線質の展開が豊富で、作者の技術が多彩であることがうかがえる。

教育委員会賞は、呉昌碩の風合を持ちつつ、調和体に落とし込んだ力作である。力強く、勢いを最後まで保っているため、作品の一貫性に優れている。落款の配置、押印もよく、全体の質が、非常に高い。

## 【写真部門】

72点の応募作品が寄せられた今回の審査会では、風景、ネイチャー、スポーツ、スナップと様々なテーマをモチーフにした力作揃いで、審査をする我々も楽しませてもらいました。

近年のデジタルカメラの性能を駆使する作品や撮影者の眼差しの鋭さを感じさせる作品など、個性あふれる入賞作品群となりました。

擬人化された市長賞の「激論」、ユーモラスに獲物を見つめる市議会議長賞の「狙う」。上位には動物をモチーフにした作品が多く見られましたが、生活に密着した何気ないスナップにも秀逸な作品が見受けられました。

高校生部門では、身近な存在である友人・クラスメイトを狙った作品もあり、高校生ならではの若さに溢れたパワーを感じました。

カメラのデジタル化、スマホの普及で写真は非常に身近なものとなりました。

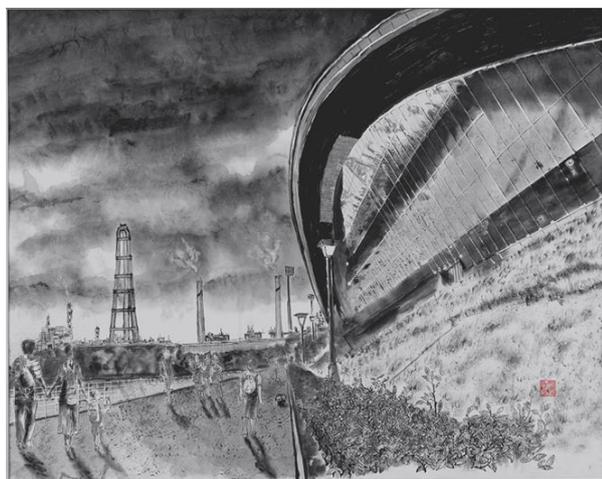
今回、画像ソフトで合成等の加工をした作品も見られました。作品規定では認められているのですが、良い作品であったゆえに、あからさまな加工で損をした作品があったことを記しておきます。

何気なく撮る写真ではなく、ファインダー越しにシャッターチャンスを見事に捉えた、応募者の方々の熱い想いを感じてください。

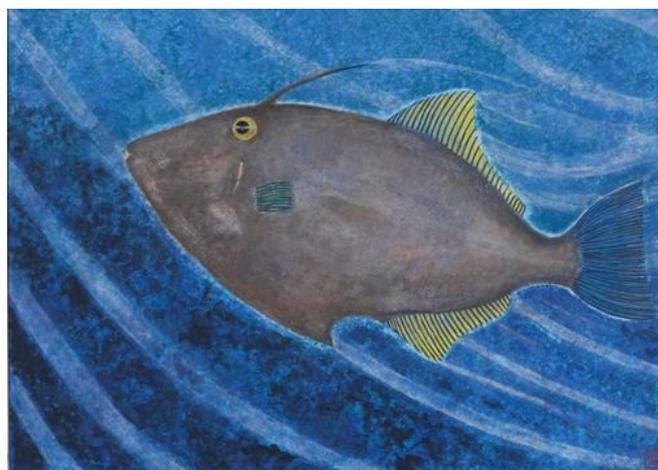
第 51 回四日市市美術展覧会【日本画】



市長賞 「向日葵」 新保 久美子



市議会議長賞  
「コンビナートの映える四日市ドーム」  
伊藤 慶三



教育委員会賞  
「キビレカワハギ」  
渡邊 博

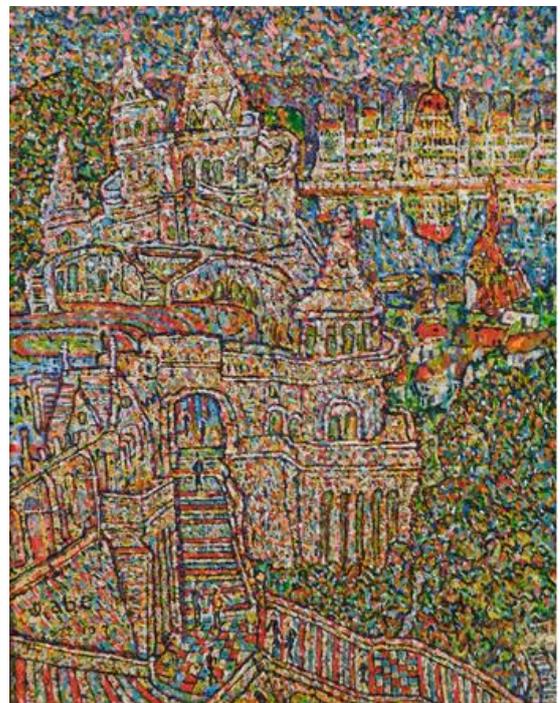
第 51 回四日市市美術展覧会 【洋画】



市長賞 「二本杉とお茶畑」 橋本 美代子



市議会議長賞  
「静寂の山門」  
鈴木 久衛



教育委員会賞  
「ブダペスト・漁夫の砦」  
阿部 逸夫

第 51 回四日市市美術展覧会【彫刻】



市長賞  
「踊れ 喜べ」  
赤繁 容子



市議会議長賞  
「鷹」  
丹羽 則夫



教育委員会賞  
「握る」  
山下 小葉

第 51 回四日市市美術展覧会【工芸】



市長賞  
「静寂の流転」  
中野 綾子



市議会議長賞  
「アミーバ・79」  
加藤 信子



教育委員会賞  
「夜行」  
大井 扶美

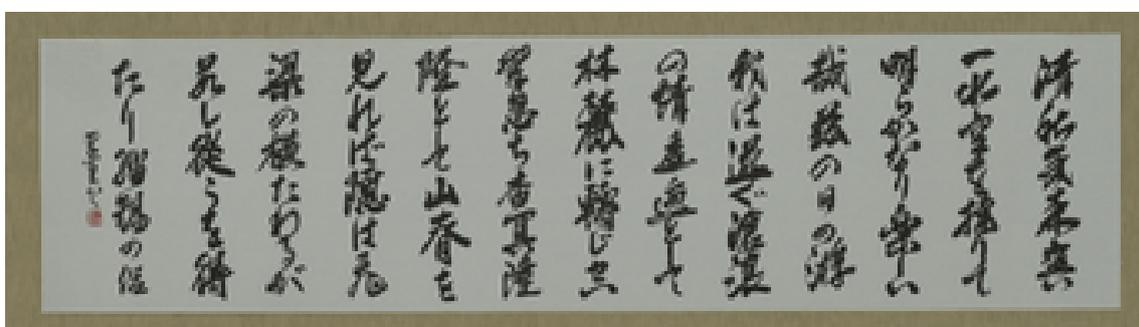
第 51 回四日市市美術展覧会【書道】



市長賞  
「みよしのは」  
水谷 かおり



市議会議長賞  
「客堂の秋夕」  
柿葉 紫水



教育委員会賞  
「周眞の詩一節」  
小松 翠篁

第 51 回四日市市美術展覧会【写真】



市長賞  
「激論」  
赤塚 正行



市議会議長賞  
「狙う」  
米川 アンジェリカ 綾



教育委員会賞  
「ぼくのテリトリー」  
脇坂 大